

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年7月1日(2022.7.1)

【公開番号】特開2021-357(P2021-357A)

【公開日】令和3年1月7日(2021.1.7)

【年通号数】公開・登録公報2021-001

【出願番号】特願2019-116462(P2019-116462)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和4年6月22日(2022.6.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者に有利な特別遊技状態にするかの判定を行う判定手段と、

所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を有する遊技機であって、

前記演出実行手段は、

前記判定手段による前記判定の結果に基づいて、前記特別遊技状態になることを示唆可能な所定の予告演出と、

所定の特定段階に向けて特定表示を変化させる特定演出と、を実行可能であり、

前記予告演出を、前記特定演出にて前記特定表示が前記特定段階まで変化した際に実行可能であり、

前記特定演出では、前記特定表示の変化を中断することがあることを特徴とする遊技機。

30

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機であって、

前記演出実行手段は、

前記特定表示が示す段階を変更する変更演出を実行することがあり、

前記変更演出を行ったときと行わなかったときとで、前記特定演出にて前記特定表示の変化を中断する確率が異なることを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載の遊技機であって、

前記特定演出にて、前記特定表示の変化が中断されたときと実行されなかつたときとで、

前記特別遊技状態になる期待度が異なることを特徴とする遊技機。

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明の遊技機は、

遊技者に有利な特別遊技状態にするかの判定を行う判定手段と、

所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を有する遊技機であって、

50

前記演出実行手段は、

前記判定手段による前記判定の結果に基づいて、前記特別遊技状態になることを示唆可能な所定の予告演出と、

所定の特定段階に向けて特定表示を変化させる特定演出と、を実行可能であり、

前記予告演出を、前記特定演出にて前記特定表示が前記特定段階まで変化した際に実行可能であり、

前記特定演出では、前記特定表示の変化を中断することがあることを特徴とする。

10

20

30

40

50